都筑中央公園はグリーンマトリックスシステムの中核となる区内最大の総合公園

都筑中央公園自然体験施設
指定管理者 特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部

里山便り 10月

令和８年１０月３１日　第２９０号

発行：特定非営利活動法人都筑里山倶楽部　理事長　志田　政明
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 57-8　Tel& Fax　045-941-0987

里山まつり 2026　１０/２５（日）

ころころと変わる天気予報にどうなる事かと心配ばかりしていましたが、当日の朝は遠くに晴れ間がのぞいており予定通り開催出来ました。会場は、円形広場と桜広場の 2 か所で、桜広場には竹のピラミッドや初めての竹のブランコなどの遊び場とキッチンカーを配置しました。
里山なべ、フランクフルト、ピザ、フライドポテト、綿あめ、そこに新メニューとして里山メンマうどんも加わりました。
この里山メンマうどんは非常に好評で 200 食が一番に完売してしまいました。また何人かはお代りまでしてくれました。













都筑文化芸術協会に協力してもらっているステージでは、小さな子供たちから大人までダンスに歌にと日頃の練習の成果を発表してくれました。出演者のご家族も沢山お見えになり小さな子供の演技の時間帯には一層お客様が増えていたようです。心配した天気も何とかもち、今回も多くの来園者の方々にお越し頂きありがたく思っています。ご来賓の佐々田都筑区長、北部公園事務所の宮本所長にはご挨拶をいただきました。お昼ご飯も食べる暇なく対応してくれたスタッフの皆様には感謝の言葉しかありませんが、地域の皆様に楽しんで頂ける「まつり」をこれからも皆さんと一緒にがんばって作り上げていきましょう。お疲れさまでした。

K.M.

米作り体験　稲刈り　１０/３(土)
脱穀　１０/31(土)

今夏はとにかく雨が多く過去ひと月半は連日の雨降りでしたが、ようやく数日前から雨もあがり予定通り稲刈りを実施できました。田植えと同様に稲刈りも２班に分かれ時間をずらして行います。
始めに鋸鎌で刈った苗の縛り方を中心に教えてもらいます。なぜなら、はさに干したり脱穀したり藁を保管したりとうまく縛れていないと後の作業に支障をきたすからです。先ず刈り取った稲５束ほどを右側に傾けて置き、さらに５束を左側に向けて重ねます。５本ほどの縛る藁を右手根元で持ち、稲の根元にあて稲を 180 度回転、左手の藁の根元を右手の藁でひとまわり半、先端を左手の藁の下にくぐらせます。こうすれば後で脱穀のときなどに緩んでも締めなおせます。
何だか分かったか分からなかったかですが、とにかく田んぼで実施訓練。水が抜けきらず泥に足をとられながらも、無事に刈り取り、縛りもばっちり。はさに架けての天日干し、おいしいお米になぁーれ！

年間通しての米作り体験の締めくくりとして脱穀作業を実施しました。前半の脱穀も後半の藁の穂先を使っての「みごぼうき作り」も秋空のもと楽しい時間となりました。午前のジュニアそして午後の A 班 B 班と 3 回の体験作業、協力してくれたサポーターの皆さんもお疲れさまでした。

M.S.





米作り体験　稲刈り　１０/４（日）
ジュニアくらぶ　　脱穀　１０/31(土)









9 月の長雨もひと段落した 10 月初旬、5 月末に植えたお米の稲刈りを行いました。稲刈りなんですが田圃の状態は田植えの時と同じで泥々のぬかるみで一歩足を踏み出すのも困難な状況でしたが、子供達は鎌の取り扱いに注意しながらどんどん稲を刈っていきました。

刈った稲も教えられた通りの束ね方をしっかり守っていたので、はさ掛けもスムーズにできました。

最後ははさ掛けの前で笑顔で刈ったぞ～そして、4 週間乾燥した稲を脱穀機にかけて約 11kg の籾の状態にしました。このまま保管してお正月遊びの直前に籾摺りと精米をします。脱穀作業の後は米がとれた状態の藁でみごぼうきを作りました。　　T.H.

ＤＥ＆Ｉフェスティバル　１０/４（日）



10 月 4 日地元 3 団体（TIF）が主催する多文化共生をテーマとした「ＤＥ＆Ｉフェスティバル」が今年もノースポート・モールで開催され、当倶楽部もブースを出店しました。3 年連続の出店です。このフェスティバルでは、テーマに沿って様々な国の方による出店、イベントが繰り広げられステージでも多様なパフォーマンスが披露されていました。我々も身近な自然を感じて、楽しんでもらえるよう竹細工、竹炭、ハチミツなどの『里山の恵み』の販売、公園や倶楽部の活動のアピールを行いました。一人ひとりの違いを認め合い、尊重し、誰もが安心して居心地よく暮らせる地域を目指すお祭り、私たちも積極的に進めていきたいと思います。　　U.H.

大池の生き物観察会　１０/４（日）



当日の天気はくもり時々はれ、参加者２１名で観察会を行いました。まず、参加者の皆さんに、釣り糸への餌のつけ方、ザリガニの釣り方等を説明した後、釣り竿、餌、バケツ、網かごを手に大池に向かい、釣り糸を垂れ、網かごを仕掛けました。今日は、採れたザリガニはこれまでで最低の３匹だけで、他にはスジエビ、モツゴ等の小さな魚も採れましたが、全体的に少ない状況でした。

釣り終了後、大池で採れたモツゴ、ヨシノボリの仲間、スジエビ、早淵川で採れたボラ、アユ、スミウキゴリ、オイカワ、モクズガニを観察しながら、講師より解説がありました。また、投網での魚の取り方等について解説がありました。公園の大池及び早淵川に生息する生き物について、楽しく観察することができました。T.N.



里山茶会　１０/１１（日）

～竹林で一服～

予てから行いたいと考えていたイベント「野点」。長年我々が管理している公園の竹林で、やっと開催することが出来ました。中川西地区センターで長年活動されている「音羽の会」の先生方のお手前で、30 人が秋の竹林で初の野点を体験されました。大きな緋傘がたてられ、その柄にはお茶花が生けられ、一期一会の色紙も飾られています。

そして、真っ赤な緋毛氈の上に並んだ茶釜や茶道具、表千家の流儀にそって立てていただいたお抹茶をいただきます。お茶の前にいただく主菓子の甘さと抹茶のほろ苦さが絶妙です。初めての体験に感動されている方も多くいらっしゃいました。普段里山倶楽部が開催するイベントとは全く違う、趣のあるイベントとなりました。毎年継続して行いたいものです。音羽の会の皆様、ありがとうございました。　　K.M.





イモの年間コース（サトイモの収穫）　１０/１７（土）

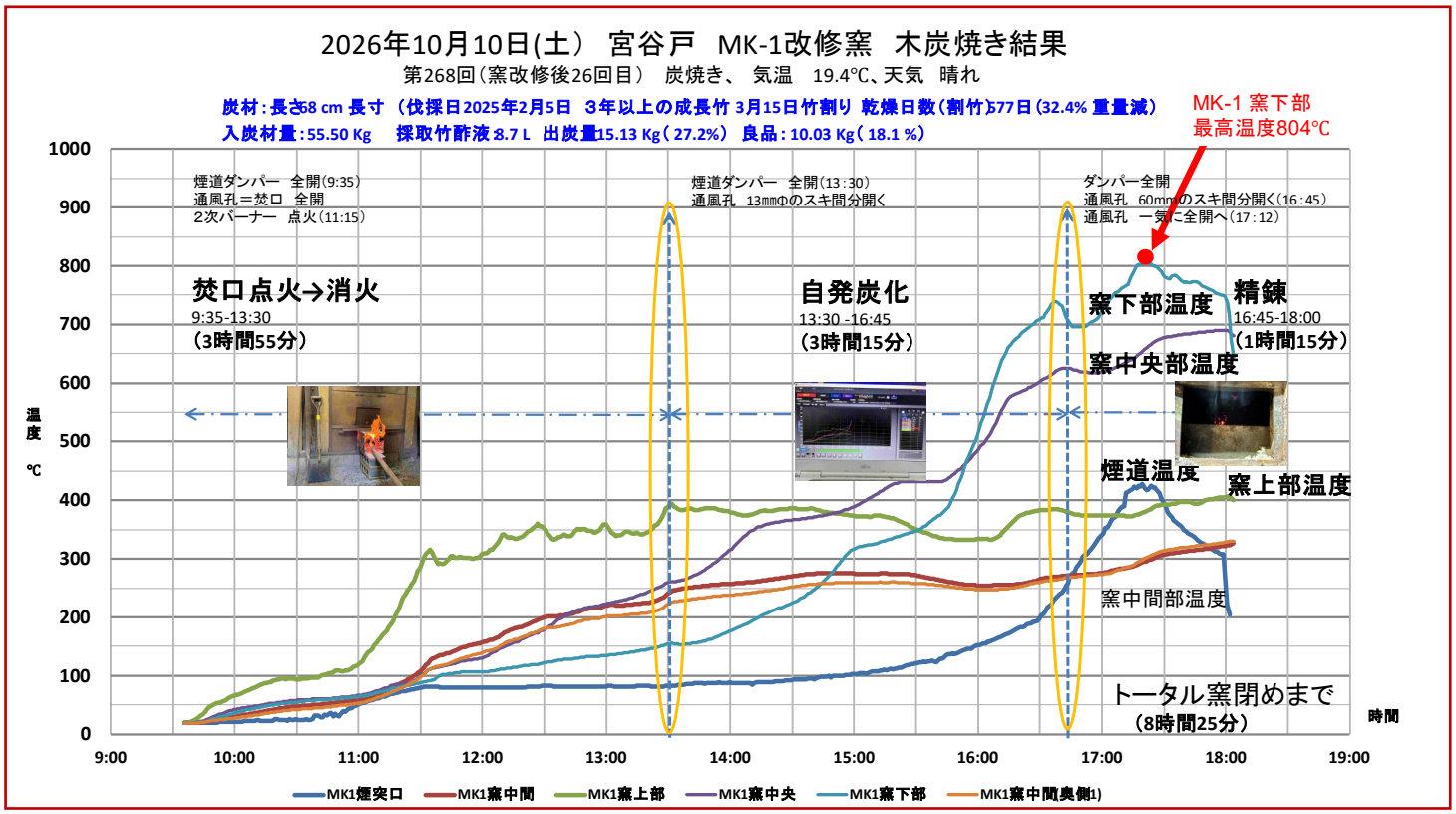
澄みきった青空のとても気持ちのいい朝です。運動会に重なってしまったひと家族を除く６家族が集合しました。先ずはダイコン畑から始めます。初夏のジャガイモの収穫後に植えたマリーゴールドは線虫対策の役目を終えたので抜いてやります。ひと月前に種をまいたダイコンは 10 センチ程の葉に成長したので、間引き・施肥・土寄せの手入れです。次は本題のサトイモ掘り。夏場の異常なまでの雨の多さで茎の高さが２メートルを超えるほどにも元気に成長した今年のサトイモ、茎の根元を鋸鎌で切って掘り起こすと、どれもりっぱな大きさです。



どういう訳か今回はお父さんの参加がなく腕力不足もあり少し掘り残したまま終了、その代わり掘りあげたサトイモの親芋・子芋・孫芋の仕分けを行いました。最後は赤芽の茎でのズイキづくり。皮をむいて、箸の先で穴をあけて、糸をとおして、日向につるして、この天気なら乾燥も早くうまくいきそう。使った道具をたわしで水洗い、ついでに手も爪のあいだも。元気いっぱい楽しさいっぱいのイベントを終了しました。　　K.M.

炭焼き

８月の活動休止期間後、宮谷戸窯での竹炭焼きを再開しました。久しぶりのドラム缶窯を使用しての炭焼きでしたが、窯の性能は安定しており休止前と同様の結果を得ました。



■ドラム缶窯（ＭＫ－１）竹炭焼き 10/10 日（土）
9：00～18：30（21.5 hr）
体験参加者：1 家族３名（親子、ジュニア所属）
伐採日 2025/２/５、竹割り日 2025/３/15
乾燥日数：竹割後 577 日（約 19 ヶ月）保管中の乾燥減量率：32.37%［入炭材量］55.50 kg［火入れ時の薪（燃料）の投入量］30.26 kg　［出炭量］15.13 kg（27.26%）［良炭量］10.03 kg（18.07%）　［採取竹酢液］8.70 L
［バラ炭（硬炭）］5.27 kg（２袋）
その他［無煙炭化器によるバラ炭（軟炭）］11.28 kg（５袋）

■中・高校生のボランティア参加
10/17 日（土）9：00～12：00　宮谷戸窯、ばじょうじ竹林にて
参加者：逗子開成中学校・高校の生徒、指導教員計 13 名
内容：窯出し、炭の選別と研磨、竹の伐採・搬出、火起こし体験、竹馬作り
短時間ですが中身の濃い体験になりました。

11月12月の行事

月	日	曜日	行　事	時間			集合場所	参加費
11	8	日	ミツバチ飼育体験会	10:00	~	12:00	レストハウス2F	300
	21	土	イモの年間コース(サツマイモの収穫)	10:00	~	12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	
	22	日	晩秋の植物観察会	9:00	~	12:00	レストハウス2F	300/100
	14	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り) 3回コース	9:00	~	12:00	宮谷戸炭焼施設	3回 1000
	21	土	炭焼き(火入れ、炭焼き) 3回コース	9:00	~	17:00	宮谷戸炭焼施設	
	28	土	炭焼き(窯だし、炭材作り) 3回コース	9:00	~	12:00	宮谷戸炭焼施設	
	21	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)特別プログラム(こも編み)	9:00	~	11:30	宮谷戸炭焼施設	300/100
12	5	土	里山保全体験(落ち葉かきと焼き芋)	10:00	~	12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	600/400
	6	日	里山のめぐみでリース作り	10:00	~	12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300 材料:1200
	13	日	野鳥の巣箱作り	9:00	~	12:00	レストハウス1F	300/100 材料:1200
	20	日	お正月飾りを作ろう	10:00	~	12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300 材料:1200
	5	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り) 3回コース	9:00	~	12:00	宮谷戸炭焼施設	3回 1000
	12	土	炭焼き(火入れ、炭焼き) 3回コース	9:00	~	17:00	宮谷戸炭焼施設	
	19	土	炭焼き(窯だし、炭材作り) 3回コース	9:00	~	12:00	宮谷戸炭焼施設	
	12	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)特別プ(お正月飾り)	9:00	~	11:30	宮谷戸炭焼施設	300/100

＜応募方法＞行事開催１０日前までに一行事ごとに HP または往復はがきで参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入してお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選になります。抽選の結果は行事の１週間前までにご連絡致します。HP　https://tzksatokura.org/　　お問合せ　tsuzuki-park@tmtv.ne.jp

11月　炭焼き予定表

	日	曜	作業予定（9:00 - 12:00、第２土曜を除く）
	11	（水）	竹細工製品の素材作り（蛙、竹とんぼ他）
第2週	13	（金）	竹の伐採（竹垣補修用、福枝用ほか） 窯詰め準備（炭材用割竹の計量＆運搬など）
	14	（土）	窯詰め（MK-1）、薪割り 特別プログラム準備（こもの選別） 部会代表者会議報告（10/18開催分）ほか
	18	（水）	竹細工製品の素材作り（蛙、竹とんぼ他） 竹の伐採（竹垣補修用、福枝用ほか）
第3週	20	（金）	煙突設置 料理準備 こも編み準備（稲わら・編み機の確保）
	21	（土）	火入れ（MK-1）、特別プログラム（こも編み） 軟炭焼き（無煙炭化器使用）、薪割り 宮谷戸窯竹垣の補修 BBQ
	25	（水）	竹細工製品の素材作り（蛙、竹とんぼ他） 福枝作り（600 本受注）
第4週	27	（金）	煙突撤去・清掃 次年度炭材用竹の伐採①（２回分、～７本：200 kg）
	28	（土）	窯出し（MK-1）、選別、磨き 次月（12月）の予定表配布・説明

11月　保全田畑部会　理予定表

日付	曜日	9時－12時　13時－17時
3	火	(H)バラ花壇、花柄摘み、除草、消毒
5	木	(B3)間伐竹材の枝払い (I-①)こも編み材の裁断
10	火	(A3)落葉掻き、(園外)南山田小・竹細工(9:30-11:00) (I-①)こも編み
12	木	(A2-②)落葉掻き (I-①)こも編み
17	火	(H)バラ花壇、花柄摘み、除草、追肥 (園内)南山田小来園(9:30-11:00)
19	木	(I-①)竹細工の日（福枝、正月飾り） (I-①)こも編み
23	月	(園内)葛のつる採取 (G)大根の収穫
26	木	(園内)パトロール、(I-①)部会会議

編集記

朝晩は冷え込むようになり、秋も深まってきました。公園の木々も少しずつ色づき始め里山の秋もこれから本番です。毎年違う紅葉の季節今年は何色が多いのかな。

里山のめぐみ販売

■PURE ハチミツ
計り売り　1g/8円
1びん/1800円
■竹炭　　300円
■竹酢液　500円

■竹細工各種
200円～
■青竹材
200円/1m

